

食の信頼性向上自主行動計画

平成20年7月11日

日本百貨店協会

日本百貨店協会では、『百貨店食品安全推進コラボレーション宣言（別添）』に沿って、業界全体として、食品の安全や品質を確保し、お客さまから信頼され続けるために、次のとおり必要な情報の提供・発信、行政機関との連携等を行う役割を果たします。

会員百貨店に対して、「食品事業者の5つの基本原則（別紙）」の周知を図るとともに、本基本原則に基づいて各百貨店がお客さまの信頼を確保・向上するために行う各種取組について、支援いたします。

食品安全に関する各種ガイドライン、マニュアル等を策定するほか、会員百貨店に対して、食品の安全確保に向けて表示の適正化など必要な支援を行います。

食品安全推進委員会等各種会合の場における先進的取組事例の共有化、情報提供や『百貨店食品安全衛生パスポート』のより一層の活用により、会員百貨店に対して、コンプライアンス体制の構築の必要性について継続して周知徹底を図ります。

お客さまに対して、百貨店は、食品に関する適切な情報等について、自社のホームページなどを通じて提供します。

業界としての信頼性向上に向けた取組の中で明らかになってきた諸課題については、農林水産省等の行政機関と緊密に情報を共有し、連携しつつ、解決に向けて取り組みます。

【別 紙】

基本原則 1 お客様（消費者）基点の明確化

お客様を基点として、お客様に対して安全で信頼される食品を提供することを基本方針とします。

基本原則 2 コンプライアンス意識の確立

取り巻く社会環境の変化に適切に対応し、法令や条例、公正なルールや社会規範を遵守し、社会倫理に沿った企業活動を進めていきます。

基本原則 3 適切な衛生管理・品質管理の基本

人の生命と健康の維持、楽しみに大きく関わる仕事に携わっているという自覚を持ち、安全で信頼される食品をお客様に提供するために、適切な衛生・品質管理をしていきます。

基本原則 4 適切な衛生管理・品質管理のための体制整備

お客様に安全で信頼される食品を提供するために、適切な衛生・品質管理を行う体制を整備し、それが形骸化しないよう改善を行っていきます。

基本原則 5 情報の収集・伝達・開示等の取組

お客様などとの信頼や満足感を確保するため、常に誠実で透明性の高い双方向のコミュニケーションを行います。また、そのために必要な情報の収集・管理を行います。

【別 添】

百貨店業界・食品業界

百貨店食品安全推進コラボレーション宣言

私たちは、「信用、信頼、そして安心」を両業界の共通理念とし、「食」における顧客満足の最大化に向けて、美味しさの提供のみならず、安全で安心できる「食」をお届けするため、両業界のコラボレーション活動によって、

1. 「食」の安全に関するノウハウを交流し、確かな商品知識と法律知識に裏打ちされた日々のチェックを実践するとともに、お客様に対しては、表示だけでなく、接客販売という百貨店の利点を生かして、分かりやすく適切で役に立つ情報を提供します。
2. 「ちょっと変だな・・・」「本当にこれで大丈夫かな・・・」と思うことがあったら、うやむやにしないでお互いが納得のいくまで安全を確認し合い、コンプライアンス（法律遵守）をベースに、さらに高度な倫理観を目指して行動します。
3. 「食」の安全に関する課題については、生産、加工、物流、保存、販売など食品流通におけるすべての過程において常に情報を開示し合い、情報共有のみならず危機意識をも共有し、リスクコミュニケーションを強化します。

2003年2月20日

百貨店食品安全推進大会

日本百貨店協会食品安全推進委員会が食品業界と開催した「百貨店食品安全推進大会」において採択したものの。